

▲國際勞働總會代表一行の歡送迎

本年度の國際勞働總會は六月十四日より壽府に於て開會された。總會の討議に豫定された議案は條約案、報告案を合せて七議案であつたが、その中で最も重大議案である失業保險に關する問題と「勞働時間の短縮に關する問題」を中心に、最近の日本商品の目撃しき海外進出をウォンヤル、ダンピングなりと斷じ、局長の年度報告の討議に於て議題外の重大問題化さそうとする形勢にあるとの説が傳はられ、極めて緊張裡に本年度國際勞働代表の討議が行われた。日本勞働組合會議は第十八回國際勞働總會代表に全國勞働組合同盟菊川忠雄君、顧問に海員協會鈴木倉吉君、東電従業員組合岩水榮一君、隨員に全國勞働組合同盟鈴木悅次郎君を推薦し、夫々當選せしめた。

日本勞働代表一行は四月二十日朝伏見丸で門司へ入港した。九州地方協議會は加盟各團體の鮮紅の組合旗を先頭に數旋の長旋を押し立てて、參集、故國最後の港に於いて勞働代表の盛大なる歡送迎を催した。

十月十五日菊川勞働代表シベリア經由歸朝、門司寄港に當つても九州地方協議會は本部の指示に依つて加盟団体代表を多數門司埠頭に送り、勞働代表の壽府に於ける健闘を深謝した。

(—追記—) 菊川勞働代表一行が渡歐の途上、五月十日、錫蘭に於て日本勞働組合會議多年の宿志であつた亞細亞勞働會議が印度、錫蘭の中心勞働團體の參加を得て結成大會が舉行されたことは國家主義對立の反動的國際思潮の只中で勞働階級の麗しき國際協力として世界の耳目を奪つた。結成大會に於ける菊川勞働代表一行の努力と健闘を深謝して茲に併せて亞細亞勞働會議の結成を報告する。)

▲簡易保險低費診療拒絕反對決議

決議

日本醫師會は逓信省簡易保險局と契約を結び簡易保險低費診療を健康保險醫に囑托したるに、門司、戸畑、小倉の醫師會は簡易保險低費診療の辭退を決議したり。日本醫師會の規約に依れば簡易保險低費診療を辭退せる者は健康保險囑托醫を取り消し得る旨を規定しある故、今、門司、小倉、戸畑の醫師會へ本規約が適用されるならば、勞働大衆は健康保險料を拂ひ込み乍

ら、小倉、戸畑、門司に於ては健康保險法に依る診療を受け得ざる結果を招來する。

かゝる事態に立ち至れば勞働階級の直接生活上の權益に山々しき打撃を蒙らしめるものであるが故に、日本勞働組合會議本部は宜ろしく内務省社會局健康保險部、逓信省簡易保險局並に日本醫師會と折衝し、以て勞働階級の權益確保のため最大の善處を期して全力を至されんことを乞ふ。

右決議す

昭和九年四月十五日

日本勞働組合會議九州地方協議會第五回委員會

▲メーデー

従前も九州地方協議會加盟団体は共同してメーデーの街頭示威を敢行してゐたのであるが本年度は特に第五回委員會の決議に依り九州地方協議會の主催を以て街頭示威を行つた。

五月の碧空に青葉の薫風香る日、午後一時小倉市當野商業學校の廣場に相集ふ同志の者七百、久保時造君總指揮となつて司會し、先ず參加団体代表者の挨拶に續きメーデー宣言、メーデー決議を滿場の歡呼と拍手を以て可決し、全員を十一隊に分ち、隊伍堂々小倉市の主要街頭を縫つて工場地帯へ行進し、組織されたる勞働階級の威容を示しつゝ、勞働歌を高唱し、延々二時間半に亘る街頭デモを終えて淺野埋立地で解散した。示威行進の途上、圖らずも全國農民組合福岡縣聯合會の示威隊が合流し、期せずして示された勞働提携の威風は正に北九州の資本家、地主の心膽を寒からしめたと同時に、非常時局の重壓下に苦呻してゐる未組織勞働階級へ健實なる勞働組合に對する力強い信頼の念を湧き立たせるに充分であつた。

メーデー、スローガン

- 一、第十五回メーデー、一萬歳!
- 一、健實なる勞働組合主義の確立!
- 一、一日八時間一週四十八時間制の實施!
- 一、最低賃金制の確立!